

白神ぶなっこ教室

学校に泊まろう!!

白神ぶなっこ探検隊に入ろう！

雪と川とブナの森

秋田・青森両県の県境に広がるブナの原生林——白神山地は水のふる里です。白神山地を源とする藤琴川のほとり、大きな木の橋を渡ると赤い屋根の木造校舎があります。旧坊中小学校です。2000年廃校となりましたが、2003年有志がこの校舎を町より譲り受け、2004年「白神ぶなっこ教室」としてよみがえりました。ここに集い、白神の自然と山里の暮らしを楽しんでみませんか。

ご案内

白神山地の自然と歴史、創業目的、組織、交通案内、主要行事（自然体験教室、修学旅行案内）活動の様子（自然体験教室）、校舎、ブナの木、新聞紹介記事



〒018-3201 秋田県山本郡藤里町藤琴字上坊中 86 番地

Phone: 0185-79-3130 Fax: 0185-79-3021 E-mail: bunakko@nifty.com

Homepage: <http://homepage3.nifty.com/bunakko/>

東京連絡所 新宿区高田馬場 1-28-3 工新ビル 503 海洋工学研究所

Phone: 03-3207-7727 Fax: 03-3207-7771 E-mail: ksao.aol.com

白神山地の自然と歴史



小岳山頂から世界遺産地域をのぞむ：鎌田孝人撮影

白神山地の概要

白神山地は、秋田県と青森県にまたがる約 130,000ha に及ぶ広大な森林地帯の総称です。その中央部には、人為的影響をほとんど受けていない源流域があり、世界最大級の原生的なブナ天然林が一連なりとして存在しています。このブナ天然林には、ブナ、サワグルミ、ミズナラ等の落葉広葉樹が分布し、多様な自然を形成しています。

白神山地に生息するカモシカ、ヤマネ、クマガエラ、イヌワシの天然記念物は登録区域の内外を問わず文化財保護法により保護されています。地質は、花こう岩を基盤に堆積岩とそれを貫く貫入岩で構成されています。

白神山地には大川、赤石川、追良滴川、笹内川、粕毛川が流れ、流域の尾根沿いには標高 1,000m 級の山々が連なっています。県境の尾根沿いにニツ森 (1,086m)、真瀬岳 (988m)、雁森岳 (987m)、小岳 (1,042m) があり、大川流域に青鹿岳 (1,000m)、追良瀬川流域に天狗岳 (958m) があります。そして青森県の岩崎村と深滴町を分ける分水嶺に白神岳 (1,232m) と白神山地最高峰の向白神岳 (1,243m) があります。

世界遺産登録

昭和 50 年代の半ばに、白神山地を縦断する青秋林道計画の際に、県内外から白神山地の自然保護の活動と調査活動が始まり、その高い自然的価値が評価され、平成 2 年 3 月に森林生態系保護地区として指定、1992 年 7 月には自然環境保全地域として指定・保護されることになり、さらに、1993 年 12 月に、原生的なブナ林で占められている区域 16,971ha が世界自然遺産に登録されました。

1. 創業目的

創業：2003年8月5日 **開校**：2004年5月29日

事業内容：

世界遺産白神山地の麓で、子供から大人を対象とした自然体験教室を開催します。

藤里町には、ブナの原生林、里山、そして山からの水で繋がった里の暮らしがあります。ここで、春、夏、秋、冬の移り変わる自然に親しみ、自然の仕組みを知り、人間もその一員であることを体感し、自然とともに生きる気持ちと方法を学べるようなプログラムを提供します。参加者の体力や時間的余裕に応じて、日帰りから3泊4日程度のプログラムを設け、川と森に囲まれた旧坊中小学校の校舎を舞台に、喜びと知識を体験の中から深められるよう企画しています。

教室の教師は全て地元のガイドや町民で、学校へ泊まりながら、自然と共に生きてきた藤里町の生活や人生を知り、都会の人々、子供たちと地元の人たちの交流を目指します。

当面、ブナ林や里山散策、登山、雪の里山散策などの自然体験を中心に、山菜取りときりたんぼ作りなどの料理教室、白神山地の自然と生活に関する語りやスライド、ナイトハイクなどを織り交ぜながら参加者が自然のなかで楽しく過ごし学べるようにします。

その後、農業体験、林業体験など通年で参加できる教室も開催し、自然と人間と農林業という総合的な観点から、白神山地の価値を感じ取れるよう範囲を拡大してゆきます。

経営理念：

事業の目的は、通過型ではなく地元と直結する自然やくらしの体験と地元の雇用の創設です。都会の人が、自然と共に生きる生活を地元の人とともに体験し、自然の大きな営みを理解すること、そして人間は本来自然そのものなのだと理解することで日本の社会を健全にしてゆく礎が築かれ、地元には交流とサービスの提供による雇用が生まれます。そして、白神山地と係わって生きてゆく人々が増えることで、自然が守られ、町が活性化するという良い循環が始まります。

地元が提供できるものは、すばらしい環境とそのなかで得られる山菜、キノコ、アユ、イワナなどの自然の恵み、そしてそのなかで作られるお米や木材です。作るものの価値は、安価な商品ではなく、本当に良いものをできるだけ自然に近い状態で作ることにあります。白神ぶなっこ教室もかつての校舎をできるだけそのまま利用し、校舎が持っている様々な利点をそのまま生かすような事業を展開してゆきます。そしてこの教室が、周りにある世界遺産センター、ホテル、旅館、民宿などの施設と協力して、秋田県側から白神山地へ入る玄関口としての役割を果たすように進めてゆきます。

2. 組織

代表取締役	佐尾和子	：白神山地自然ガイド、(株)海洋工学研究所出版部長
取締役	中嶋英雄	：2級建築士、(有)中嶋工務店代表取締役
	中嶋厚子	：保育士、中嶋工務店取締役
	佐尾邦久	：調理師、(株)海洋工学研究所代表取締役
監査役	鎌田孝一	：白神山地自然ガイド、秋田自然を守る友の会会長、鎌田写真店

3. 交通案内

藤里町の北部には、世界遺産に指定されている白神山地のブナの原生林（コアエリアとバッファゾーン）とそれに続くブナの山々が連なり、白神山地を源流とする粕毛川と藤琴川が町を潤し、合流して米代川に注ぎ、秋田県を横断して能代で日本海に注いでいます。粕毛川と藤琴川にそって、県道 322 号と 317 号がはしり、その先は林道となっています。

白神ぶなっこ教室へは、空路、JR、夜行特急バス、マイカーなどで訪れることができます。

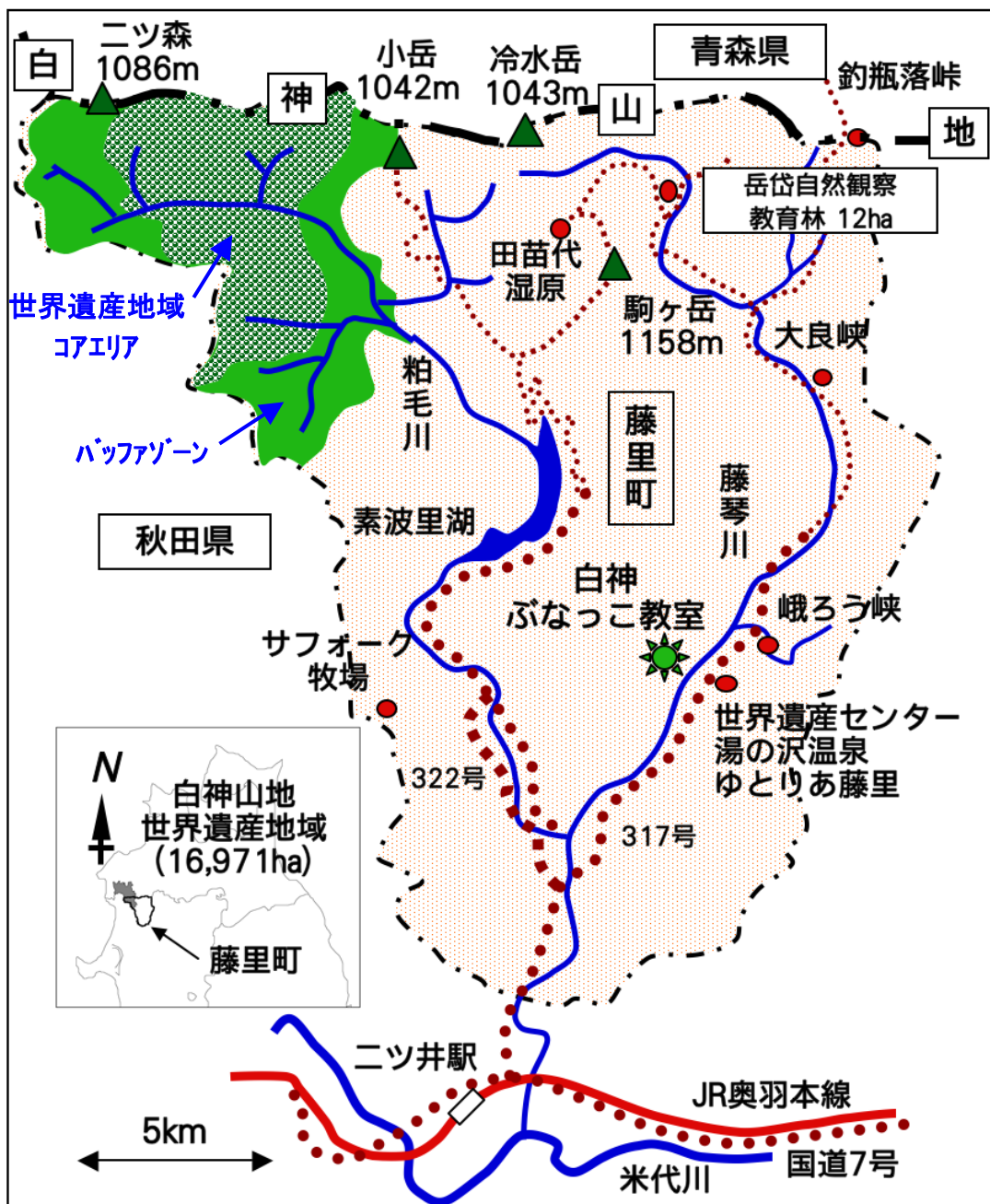
空路：大館能代空港より車で 30 分、秋田空港より車で 1.5 時間

JR：秋田新幹線秋田駅から二ツ井駅まで奥羽本線快速で 70 分、二ツ井から車で 15 分

車：東北自動車道十和田 IC から国道 103 号と 7 号、さらに県道 317 号を経て 70 分

東北自動車道-秋田自動車道 二ツ井白神 IC から国道 7 号、県道 317 号を経て 20 分

バス：夜行バス（東京池袋—二ツ井操車場）10 時間、二ツ井からは車で 15 分



4. 主要行事

自然体験教室、修学旅行、散策登山ガイド、山菜採り・料理教室などを企画・実施しています。

4.1 自然体験教室

小学生以上の生徒や大人を対象として、学校に泊まりつつ体験をする教室を毎年数回開催します。白神山地への登山や散策、山菜採りと郷土料理の実習、川遊び・泳ぎと魚獲り、畑での収穫、満天の星空と蛍の舞うナイトハイク、バーベキューと昔話、ブナの木の仕事、雪の里山散策、鮭の稚魚の放流など様々な自然とのふれあいや時にはホームステイなどを通じて、楽しみながら自然や自然とともにある暮らしを体験し、白神山地を守ることの大切さを感じることができます。

藤里町の人々が、その暮らしや体験を教えたり、食事や宿泊の世話をします。

2004、2005年度の教室の様子は新聞でも紹介され、ぶなっこ教室のホームページには写真も掲載されています (<http://homepage3.nifty.com/bunakko/>)。

募集要項 (2006年度企画プログラム)

★ 対象：子供～大人 (1クラス 10～20人)

★ 費用：1泊2日 小中学生 19,000円 一般 21,000円

2泊3日 小中学生 28,500円 一般 30,000円

3泊4日 小中学生 38,000円

宿泊・食事・体験料・現地交通費・傷害保険料を含みますが、現地までの交通費は含みません。兄弟姉妹・親子・ぶなっこ教室に宿泊しない場合 (ホームステイは除く) の割引もあります。

★ 指導：白神山地自然ガイド、藤里町民

★ 電話・FAX・Eメールにてお申し込み下さい (申込書はホームページからダウンロードできます)。

★ プログラムは天候や道路状況により変更になることがあります。

教室に参加した子供たちは“**白神ぶなっこ探検隊**”となって、山や里に現れます。

白神ぶなっこ教室・2006年度年間スケジュール

学校に泊まろう!! 白神ぶなっこ探検隊に入ろう! ブナ林を歩く、川で遊ぶ、ナイトハイク、山菜やキノコ採り、きりたんぼ作りなど白神山地を舞台に 自然と親しみながらその仕組みを知り、山里の暮らしを				
日時	行事名	内容・場所	対象 参加人数	備考
2006年 7/28 (金) ～ 7/30 (日)	夏の学校	★夏休みぶなっこ探検隊 ブナ林散策、登山、川遊び、ナイトハイク、きりたんぼ作り、工作、農作業、白神のお話など *岳岱、小岳 (または二ツ森・青池) など	小中学生～ 一般 10～15人	2泊：ぶなっこ教室
2007年 3/27 (火) ～3/29 (木)	雪の学校	★早春の白神をかんじき・スキーで歩く 雪灯籠作り、サケの放流、ナイトハイク、昔の暮らしのお話など	小中学生～ 一般 10～15人	2泊：ぶなっこ教室

4.2 修学旅行

修学旅行には特定のプログラムを設定していません。生徒あるいは教師とぶなっこ教室が共同して計画し、初期の目的を達成できるようつとめます。

(1) 自然と文化とぶなっこ教室

白神山地には、春夏秋冬の季節ごとに異なる様々な自然と文化があります。文化は自然によってはぐくまれたもので、言葉として、食べ物として、生活スタイルとして、昔の生活の知恵を継承しています。それは、豊かな自然の恵みがあるからです。修学旅行、総合的な学習の時間では、ぶなっこ教室を拠点として、そのような自然と文化を楽しみながら理解することができます。

(2) 教室のプログラム例

白神山地への登山や散策、山菜採りと郷土料理の実習、川遊び・泳ぎと魚獲り、畑での収穫、満天の星空と蛍の舞うナイトハイク、バーベキューと昔話、雪山の散策、鮭の稚魚の放流など様々な自然とのふれあいを通じて、そして自然と共に生きてきた家庭へのホームステイ、農作業実習、林業体験などを通じて、楽しみながら自然を理解し、白神山地を守ることの大切さを感じるでしょう。

(3) ガイド

企画されたプログラムを実施するとき、必要ならぶなっこ教室にはガイド（登山・散策など）や指導者（山菜キノコ採り・料理・農林作業・工作・建築実習など）がいます。白神山地の自然と歴史、森林の仕組みや植物の生態等の勉強の講師もいます。藤里町で暮らす多くの人々が、それぞれにそういう先生ですから、何でも相談してください。

(4) 宿泊とホームステイ

宿泊は、ぶなっこ教室でもホームステイでもあるいは民宿やホテルも可能です。ホームステイ先を紹介し、そこでの生活計画について相談します。

(5) 設備

ぶなっこ教室では、次のような設備を提供できます。

- 1) バーベキューセット
- 2) 川下り筏
- 3) 運動場

(6) 何でも相談

企画プログラム、修学旅行以外にも、学校やグループでの教室開催のご相談に応じます。

(株) 海洋工学研究所にある白神ぶなっこ教室の東京連絡所に連絡してください。いつでも相談にのります。

担当者：佐尾和子

TEL：03-3207-7727 FAX：03-3207-7771 E-mail：ksao@aol.com 又は bunakko@nifty.com

4.3 散策・登山ガイド

自然体験教室や修学旅行の他に、個人・家族・団体の方に白神山地の散策・登山のガイドを行います。

- ★ ガイドプログラムと旅程・現地移動車・宿泊などをご相談ください（下記参照）。
- ★ ガイド料金：散策1日 17,000円、登山1日 20,000円
（ガイド1人の案内人数：最大約10人。現地移動車費用は含みません）

4.4 山菜採り・きりたんぼ作り・料理教室など体験教室（料金別途）

4.5 宿泊

白神ぶなっこ教室は宿泊することができます。

- ★ 料金：1人1泊 素泊まり 3500円
3食付き(昼食お弁当) 7500円
2食付き 6700円

4.6 「白神ぶなっこ教室」メンバーの著書

- ★ 鎌田孝一『白神山地に生きる』白水社、1987
- ★ 鎌田孝一『白神山地を守るために』白水社、1998
- ★ 市川善吉、佐尾和子『白神のブナと水とけもの道』海洋工学研究所出版部、2002

【プログラム】

白神山地は雪国のため、山菜採りや農作業が始まるのは雪解けの4月中旬から5月中旬頃です。雪解けとともに一気に始まり、比較的短期間に終わるものが多く、里山の山菜は4月に採れますが、深山の山菜は5月以降です。畑の作物の種まきや田植えは5月に始まり、収穫は6月から11月まで続きます。

山菜：ボンナ、シドケ、アザミ、ゼンマイ、アイコ、ワラビ、ミズ、タケノコなどなど

きのこ：シメジ、ナメコ、サワモダシ、ヒラタケ、ブナハリタケ

農作業：田植え・稲刈り・種まき、畑やたんぼの草取り、野菜などの収穫（そして料理）

山仕事：下草刈り、間伐

登山・散策は雪の深くなる11月中旬から5月上旬までの冬季をのぞいて可能です。5月下旬から6月上旬にかけては、ブナの新緑と一気に咲く山の花々で、秋の紅葉とともに最も美しい季節の一つです。秋の紅葉は年により変動がありますが、通常10月20日前後が盛りです。

次のようなコースが多くの人々に楽しまれていますが、このほかにも白神ぶなっこ教室にご相談いただければ、他のコースへご案内できると思います。

登山：小岳（遺産地域を一望）、駒ヶ岳、二ツ森（遺産地域を一望）、白神岳など

散策：岳岱自然観察教育林(ブナの天然林)、太良峡(落葉広葉樹と天然杉の混交林)、藤駒湿原、釣瓶落峠(紅葉の名所)、十二湖など

キャンプ：クルミ台キャンプ場、素波里猿ヶ瀬園地

温泉：湯ノ沢地区に3ヶ所

5. 活動の様子 (自然体験教室)

【夏の学校】

十二湖の青池



ブナの大木の観察



二つ森登山の後は温泉に入って、バーベキュー。羊のお肉が大好き。



バーベキューの後は語らい。
熊と出会った時はどうするか？



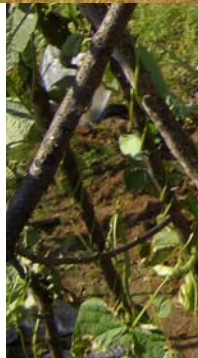
川遊び：泳いで、
ガラス箱で魚を探して、網で取ったよ。



採った魚は唐揚げにして食べました。

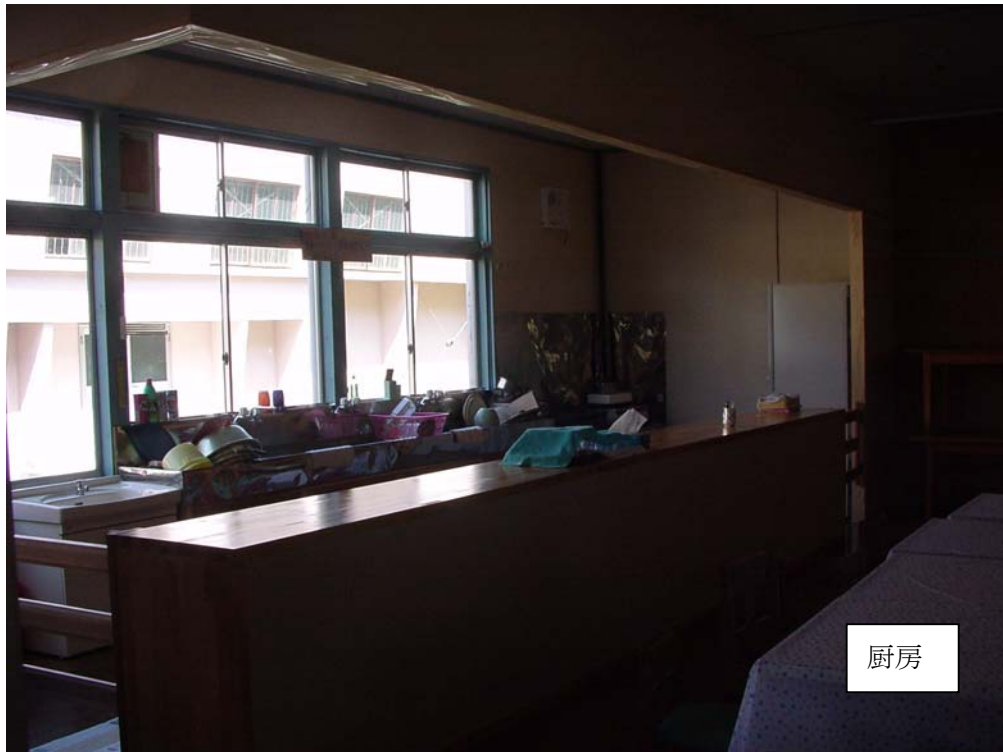


【秋の学校】



6. 校舎

ぶなっこ教室の校舎を紹介します。明るく、しかし落ち着いた感じのゆったりとしたなじみやすい建物です。





教室



工作・音楽室



7. ブナの木

早春のブナ林（残雪の林にブナの花が咲く）



晩秋のブナ林：大地に根を張るブナ



早春のブナ林（残雪の上に芽鱗がつもっている）

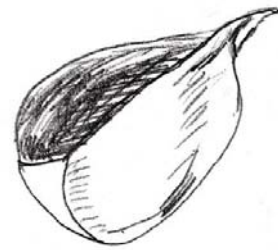


鎌田孝人 撮影

秋のブナ林（落ち葉の上に実が落ちる） ブナの芽（雪が解けるとブナの芽が顔を出す）

ブナの殻

ブナの実



ブナ実生

ブナの巨木（樹齢 400 年といわれる。コケ、ツル、シダが寄生している。）



8. 新聞紹介記事

教室は、これまでに何度も多くの新聞に取り上げられてきました。ここでは、その中から 2004年5月29日の「開校式」(秋田さきがけ)の記事と同年7月26-28日の「夏の学校I」の紹介記事(朝日新聞)と報告記事(朝日新聞、秋田さきがけ)を紹介します。

「開校式」報告：秋田さきがけ、2004年5月31日



グラウンドでナメコの植菌を行う児童ら

白神の廃校再生 自然体験の場に

藤里「ぶなっこ教室」開校

4年前に廃校となった藤里町の坊中小学校を再利用し、白神山地を舞台に宿泊型の自然体験教室を実施する「白神ぶなっこ教室」の開校式が29日、同校で町関係者や地元住民ら約80人が出席して行われた。



開校式の様子。生徒や保護者ら約80人が出席した。左から、校長、副校長、教頭、教員ら。

校長の佐尾和子さん(五九)は「白神ぶなっこ教室が「子どもたちに、自然は生命ある友達だ」ということを感じてほしい。また、山里の生活の知恵、性化へつながるよう期待も学んでほしい」とあいさつ。続いて、地元の高山大教員による演奏で盛大に開校を祝った。翌三十日は、町内の小

植菌や散策楽しむ

や、岳岱自然観察教育林での散策などを楽しんだ。同校に宿泊する本格的なプログラムの開始は七月から。本年度は七月、八月、九月の四度の教室が計画されているほか、学校やグループでの利用の相談にも応じる。同教室は白神山地に魅せられて、昭和六十一年から毎年同町に通い続け、自然ガイドの資格を持つ佐尾さんが「自然を理解し、守る人たを増やしたい」として開設した。問い合わせは、同教室開校準備室(東京の海洋工学研究所内・佐尾) ☎03・3207・7727

秋田さきがけ
2004年(平成16年)5月31日 月曜日